

平成 **29** 年度

事業報告書

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～



社会福祉法人 **浜田市社会福祉協議会**

目 次

◎ 事業概況	1
◎ 事業報告	2
◎ 概要・財源状況 報告	22
◎ 介護保険事業 状況報告		
収支の概要	66
事業所別月別 利用者数等	67
収支状況一覧	73
◎ 会務状況		
諸行事	80
理事会	100
評議員会	102
部会・委員会	103

平成29年度 事業報告

概要

□ 地域福祉等事業の状況

平成29年4月に改正社会福祉法が施行され、法人としての存在意義、公共性・非営利性、主体的な取組の重要性が問われています。

浜田市におきましても過疎化による少子高齢化、人口減少の進行とともに、家族形態の変化や働き方の変容などに伴い、暮らしを支えあう「家族」や「地域コミュニティ」の機能が低下し、社会的孤立、経済的困窮、貧困の連鎖など従来の制度やサービスの枠組みでは対応できないニーズが拡大してきております。

このような状況の中、すべての住民への総合的な支援の実現のため、生活・福祉課題把握のための「街歩き調査」や「ささえ合いアンケート調査」を実施し、私たちが暮らす浜田市が、高齢になっても、障がいがあっても、また、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けることができるまちであるために、一人ひとり、また地域全体でどのような取り組みが必要かを検討し、本会をはじめとする民間が中心となり、行政とともに取り組んでいくことを目的として、サブタイトルを「安心して暮らせる「我が家」のような地域づくり計画書」とする第3次地域福祉活動計画を策定いたしました。

今後も、国の方針として示されている「地域共生社会の実現」に向けた取り組みとして、支え合いの土壌と基盤づくりを進め、行政、社協、地域の3者は勿論のこと、企業や他法人を巻き込んで協働により新たな社会資源の開発が出来るよう進めて参ります。

生活困窮者自立相談支援事業・権利擁護の事業では、新たに設けた生活福祉課において、生活困窮者自立支援事業を生活相談係「あんしん生活相談窓口」として事業を実施し、多くの困難ケースに法テラス浜田の協力による「助っ人弁護士制度」との連携、ハローワーク浜田や関係機関との支援体制の強化を図り、事業を推進して参りました。また、日常生活自立支援事業・法人後見受任事業は、生活支援係に社会福祉士有資格者の正規職員2名を配置し契約件数の増加に対応して参りました。

□ 介護保険等事業の状況

経営状況が非常に厳しい金城支所介護保険事業に対して「浜田市社会福祉協議会金城支所介護保険事業運営方針について」の答申がなされましたが、平成28年度の現状から本会すべての介護保険事業所が危機的な経営状況にあると判断し、今後の介護保険等事業を実施していくうえでの、経営改善やサービスの資質向上を目的とした「第2期介護保険事業推進計画」を策定しました。

介護保険事業は非常に厳しい経営状況が続いていますが、退職者の補充ができないことから、利用希望者の新規受け入れができず、収入が増えないという悪循環も発生しています。

介護予防・日常生活支援総合事業では、従来型サービスは介護保険介護予防事業からの移行であるため、事業内容や報酬単価が変わらないことで、大きな変動はありませんが、緩和型サービスは、3支所の訪問介護事業所と金城支所通所介護事業所で実施し、特に参画する事業所が少ない緩和型通所介護事業においては、介護保険事業と一緒に実施することで、送迎やサービスの違いなどの課題がありましたが、日々検討しながら取り組んで参りました。

□ 労働環境の整備と職員の資質向上

本会の各事業の業務を遂行していくには、人材育成をはじめ健康で活気ある職場づくりが必要であることから、安全かつ健康の確保に努めるため安全衛生委員会を設置し、職員のメンタルヘルス研修やストレス・セルフチェックの実施、法令遵守等基本研修の全員参加や専門研修の積極的な参加により、快適な職場環境づくりと職員のスキルアップを進めて参りました。

《事業報告》

1. 地域の活動に市民が積極的に参加する

1 - 1 市民の福祉意識の醸成

(1) 幼児期からの福祉意識の醸成

- ①保育所、幼稚園と高齢者サロン等異世代交流事業の推進（歳末行事等地域において）
- ②幼稚園（浜田支所内4園）保育園（金城支所内4園）への福祉教育活動助成金の交付

(2) 小・中・高校生に対する福祉教育の推進及び支援

学校との連携により児童の福祉の心を
育む活動に取り組んでいます。

- *地域との交流をコーディネートしたり
- *車椅子体験やブラインドウォークの体験
を通じて「優しさ、思いやり」の心を育みます。



ふくっぴーサロン参加者と長浜小児童の交流

- ①市内全小中学校へ福祉教育活動助成金の交付（市内小中学校全 25 校）
- ②福祉教育副読本リーフレットを活用した福祉教育の推進
 - *配布状況：小学校 3・4 年生を対象に副読本リーフレット配布
 - *副読本の増刷（5,000 冊）
- ③福祉教育支援・協力
 - （浜田支所）
 - *ハンディキャップ体験学習（車いす・ブラインドウォーク体験）
 - ・浜田東中学校 2 年生 46 名（平成 29 年 5 月 15 日）
 - *ふくっぴーサロン参加者との交流
 - ・長浜小学校 3 年生 40 名 5 回
（平成 29 年 6 月 8 日、7 月 13 日、11 月 9 日、12 月 14 日、平成 30 年 3 月 8 日）
 - （金城支所）
 - *小学生のまちたんけんで来所（地域福祉係職員対応）
 - ・雲城小学校 2 年生 8 名（平成 29 年 6 月 28 日）
 - *福祉学習（車椅子、高齢者疑似体験、接し方の学習）
 - ・雲城小学校 4 年生 2 2 名（平成 30 年 2 月 22 日）
 - （旭支所）
 - *車いす、視覚・聴覚障がい体験
 - ・旭小学校 3 年生 22 名（平成 29 年 5 月 29 日）
 - （三隅支所）
 - *福祉学習（ブラインドウォーク・あいサポート研修）



車椅子初体験で悪戦苦闘の
生徒さんも…

- ・三隅中学校1年生 54名（平成29年7月10日）
- ④小学校児童を対象としたサマーボランティアスクールの開催
 ＊ 弥栄ふるさと体験村 ＊ 市内小学4年生以上 49名
 （平成29年8月10日）
- ⑤中学校生徒を対象としたサマーボランティアスクールの開催（旭支所）
 ＊ 旭福祉圏内施設 ＊ 旭福祉圏内中学生希望者 17名
 （平成29年8月17～18日）
- ⑥障がい者とのスポーツで交流事業（市内中学校 2校）
 ＊ 事業名：車いすバスケットを通じて障がい者との交流
 - ・ 二中1年生徒 53名（平成29年7月6日）
 - ・ 旭中全校生徒 55名（平成29年10月18日）
- ⑦ヤングサポーター育成講座
 ＊ 浜田商業高校生徒を対象にボランティア講座
 （平成29年6月13日）



車椅子バスケットを通じた交流の様子

（3）生涯学習による福祉教育の推進

- ①公民館活動との連携・協働
 ＊ 事業名：福祉教育連絡会議（三隅支所）
 - ・ 参加者：小中学校福祉教育担当教諭3名
 公民館主事5名（平成29年5月25日）

（4）福祉施設における地域との交流事業の推進

- ①保育所・幼稚園・小学校等との積極的な交流
 ＊ 通所介護事業所と地域小学校児童との交流
 - ・ 野原デイサービスセンター
 - 三階小学校4年生20名と交流（5回）
 （平成29年9月7日、9月8日、10月3日、10月20日、10月24日）
 - ・ 金城さんあいデイサービスセンター
 - 今福小学校1、2年生22名と交流（平成29年7月6日）
 - くもぎ保育園11名と交流（平成29年10月26日、11月14日）
 - 今福小学校3、4年生20名と交流（平成30年3月7日）
 - 雲城小学校4年生18名と交流（平成30年3月8日）
 - ・ 杉の森デイサービスセンター
 - 聖唖寮 11名と交流（平成30年3月30日）



↑野原デイサービスでの交流のようす
 子どもたちの声に利用者の皆さんの目に涙が浮かびます



②健康福祉フェスティバルへの参画（平成 29 年 10 月 22 日）

（雨天のため総合福祉センター内のみ実施）

③浜田市戦没者追悼式（浜田市受託事業）

*会 場：浜田市総合福祉センター

*参加者：遺族ほか 84 名

（平成 29 年 9 月 2 日）



遺族献花の様子

1 - 2 多様な人材の育成・支援

(1) 支援者・活動者の養成（浜田市受託事業）

①手話通訳者等技術研修会（年間 5 回開催／延 64 名参加）

②手話奉仕員養成事業（全 21 回（2 か年事業の 1 年目）／受講者 25 名延 374 名）

③要約筆記奉仕員登録者学習会（年間 5 回開催／28 名参加）

(2) 浜田市ボランティアセンターの機能充実

高齢者も障がい者も子供たちも、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、多くのボランティアの支援が必要です。各種ボランティア講座を開催したり、多世代、多種多様な個人、団体との連携を進めます。

*ボランティア養成講座のシリーズ開催

*シニア応援隊活動の推進

*大学生の地域支援への働きかけ

*企業ボランティアの推進



ボランティア養成講座の様子

①ボランティアセンター運営委員会の開催

*本所・浜田支所（平成 29 年 6 月 28 日、平成 30 年 3 月 20 日）

小委員会（平成 30 年 3 月 7 日）

*金城支所（平成 30 年 3 月 19 日）*旭支所（平成 30 年 3 月 9 日）

*弥栄支所（平成 30 年 3 月 9 日）*三隅支所（平成 30 年 3 月 13 日）

②相談、収集、提供体制の強化

*ボランティア情報紙の発行（社協ホームページにも掲載）

・浜田（発行回数 2 回）・金城（発行回数 3 回）・旭（発行回数 2 回）

・弥栄（発行回数 2 回）・三隅（発行回数 2 回）

③ボランティアセンター活動推進計画の実施及び検証

*計画年度：平成 27～29 年度（小委員会において進捗状況の検証実施）

*平成 30 年度からの第 2 次計画は第 3 次地域福祉活動計画に内包する

④ボランティア養成事業

＊あいサポーター養成講座

・参加者：33名（平成29年9月20日）

＊認知症サポーター養成講座

・参加者：32名（平成29年10月10日）

⑤ボランティア活動ネットワーク会議（三隅支所）

・参加者：9名（平成30年2月28日）



あいサポーター養成講座のようす

（3）ボランティア・NPOの活動支援と参加促進

①ボランティア支援者・協力者の登録推進

②有償ボランティア制度とシルバー人材センター事業の協働・推進

＊住民参加型在宅福祉事業の実施

・派遣実績（件数／延派遣人数）

金城（23件／23名）・旭（31件／31名）・弥栄（111件／328名）

③ボランティアサポート事業

＊みすみボランティアズ登録会員のボランティアポイント交換（延14回）

（4）大学生等の地域福祉活動参加への促進

①あいサポーター研修メッセンジャーの受講（2名）

②BBSサークル研修会へボランティアセンター事業説明

＊参加者50名（平成29年5月20日）

（5）高齢者・退職者の地域福祉活動への参加促進

①シニア応援隊事業推進

＊シニア応援隊会議開催

・第1回 出席者10名（平成29年8月4日）

・第2回 出席者11名（平成29年9月12日）

＊シニア応援隊企画「お達者落語会」

・江戸古典落語・健康講話 講師 春雨や落雷

参加者150名（平成30年3月17日）



150名が楽しんだ
「お達者落語会」のようす

（6）地域のリーダー育成

①災害ボランティア研修会の開催（市と共催）

＊演題「隗より始めよ」講師 菅原康雄氏

・参加者150名（平成30年1月13日）

（7）企業等事業所によるボランティア活動の促進

①企業ボランティア活動促進事業

＊企業ボランティア活動の調整、コーディネート窓口機能

・建築組合による簡単な住宅改修ボランティア（三隅支所）

11世帯12か所対応（平成29年6月25日）

1 - 3 地区組織・団体活動の充実

(1) 第3次地域福祉活動計画策定

①策定経過

＊地域福祉活動計画策定委員会開催

- ・第1回 出席者12名（平成29年11月17日）
- ・第2回 出席者12名（平成30年2月21日）
- ・第3回 出席者11名（平成30年3月8日）
- ・行政社協こんだん会

出席者6名（平成30年2月9日）

②計画概要

＊計画期間 平成30年度～平成34年度

＊地域福祉ビジョン「安心して住み続けることができる「我が家」のような地域づくり」



(2) 地区社協活動の充実強化

①地区社協の活動支援

＊地区社協会長合同会議の開催

- ・参加者：25名（平成29年5月29日）
- ・内容：これからの地域福祉と生活支援コーディネーターの活動について

＊福祉圏ごとの地区社協会長、事務局長合同会議の開催

- ・浜田支所（2回開催）・金城・旭・三隅（各支所1回開催）

(3) 福祉委員活動の推進と支援

①福祉委員制度の統一と研修の充実

＊統一パンフレットによる研修の充実

- ・各支所において会議・研修会開催
- ・浜田（5地区）・金城（合同）・旭（合同）・弥栄（合同）・三隅（5地区）

②事業への協力要請

＊生活支援コーディネーターのまち歩き地域調査への協力要請

＊社協関係各戸配布依頼、会費・募金収納依頼（金城・弥栄）

＊行事等への協力依頼

(4) 各種団体活動の推進

各種団体の（事務局）運営支援は、担い手が不足している現状において、なお、一層重要な業務となっています。ある時はその団体活動を支援し、ある時は地域福祉推進団体として、担い手となっていただく団体でもあり、目指す地域づくりの方向性を共有し、共に進むことをめざしてこれからも支援していかねばなりません。

①当事者組織の運営支援と福祉活動における連携

- ＊浜田市民生児童委員協議会の運営支援
- ＊浜田市身体障害者福祉協会の運営支援
- ＊浜田市高齢者クラブ連合会の運営支援
- ＊その他各種当事者団体の運営支援

2. 利用者主体のサービスを実現する

2 - 1 情報提供の充実

(1) 情報提供の推進

- ①浜田市社協だよりの内容充実（随時協議）
- ②浜田市社協ホームページ情報の随時更新（随時）
- ③ボランティア情報誌と支所だよりの充実強化（ホームページへの掲載）
- ④住民座談会の開催

＊旭支所：5会場 74名出席（平成29年11月21日～30日）

＊弥栄支所：24会場 258名出席（平成29年4月～3月）

(2) 社協活動の見える化の取り組み

浜田市社協未来塾（入職10年未満職員の会）が中心となって様々な企画・イベント等を実施しており、その一環として社協事業のPR企画を実施しました。



ゆめタウン浜田店でのお出かけ社協PR展の様子

《未来塾の活動》

- ＊PRキャラクターの活用
 - ・グッズ作成（ステッカー、クリアファイル）
- ＊子ども服リサイクル事業
- ＊PR展の開催や地域イベント参加

①会議開催 月1回（全12回）

②お出かけPR展実施

＊内容：パネル展示、PR動画放映、体験コーナー他

＊会場：ゆめタウン浜田店（平成29年9月30日）

③社協PRキャラクター制作（ステッカー・クリアファイル）

④イベント参加（事業紹介・共同募金活動・体験ゲーム・子供服バザー・喫茶コーナー他）

＊すすく子どもまつり（平成29年7月8日）

＊さんあい祭り（平成29年10月28日）

＊みすみフェスティバル（平成29年11月11日）

＊三隅公民館まつり（平成30年3月11日）

⑤子供服リサイクル（2回 計36件）

⑥職員研修（2回開催）

(3) 関係機関とのネットワーク構築と必要に応じての情報提供（随時）

(4) 法令遵守による個人情報の保護（随時）

2 - 2 相談体制の充実



(1) 身近な相談支援員活動の充実

① 各種相談員の連携による相談支援体制の充実

- * 相談支援機関と民生児童委員・地区社協・福祉委員の連携
 - ・ 民生児童委員・福祉委員連絡会の開催（地域情報共有）（再掲）
- * 心配ごと相談・法律相談の充実
 - ・ 総合相談・心配ごと相談所の開設
（開設日数：94 回 相談件数：39 件）
 - ・ 法律相談（相談件数：4 件）

(2) セーフティネットとしての社協相談機能の設置

① 生活困窮者自立相談支援事業（浜田市受託事業）の実施

- * あんしん生活相談窓口
 - ・ 新規相談者 119 名 ・ 相談対応（支援対応含む）件数 1,401 件（本人）
 - ・ 関係機関との連携 1,810 件（市・社協関係部所・ハローワーク等）
- * 法テラス浜田「助っ人弁護士制度」との連携
- * 各種相談機関との連携（行政、ハローワーク、青サポ、サポステ）

② 浜田圏域自立支援協議会との連携（会議参画）

2 - 3 権利擁護の推進

(1) 日常生活自立支援事業・法人後見受任事業の利用促進と充実

① 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

- * 契約件数 78 件（新規 17 件・終了 17 件）
- * 生活支援員 登録者数 : 39 名 内稼働者数 : 22 名

② 法人後見受任事業

- * 受任状況 13 件 ・ 後見 4 件 ・ 保佐 8 件 ・ 補助 1 件

- *法人後見支援員の登録、活動の実践、体制整備
- *法人後見運営委員会の開催
 - ・第1回 出席者8名（平成29年6月21日）
 - ・第2回 出席者8名（平成30年3月19日）
- *市民後見人講演会の開催（浜田市補助事業）
 - ・演題「成年後見制度について」講師 はまだ市民法律事務所 弁護士 本家泉衣氏
 - ・参加者60名（平成29年12月9日）
- *市民後見人養成講座の開催（浜田市補助事業）
 - ・受講者18名（内修了者10名）（平成30年1月～2月計8回講座）

2 - 4 当事者団体等の支援

(1) 当事者グループの支援

①自死遺族の会（分かち合いの会）支援

*第9回しまね自死遺族フォーラム in 浜田開催支援

参加者90名（平成30年3月3日）

会場：いわみーる

②ことばを育てる親の会支援（助成支援）



しまね自死遺族フォーラムのようす

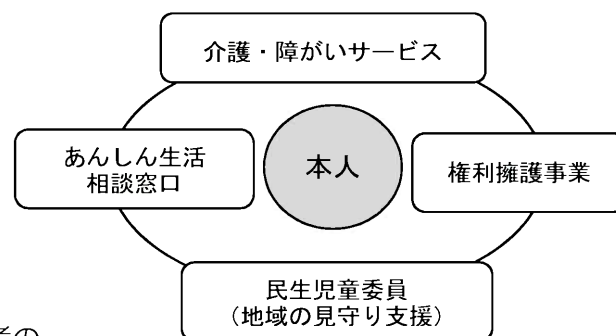
2 - 5 安心して適切なサービスが利用できる取り組み

(1) 地域に根ざした事業所の活動

- ①様々な生活課題を有している利用者に対して、介護サービスの提供だけでなく、状況により権利擁護事業や生活困窮者相談支援事業等との連携により解決を図る。

*生活困窮者相談支援事業における支援対象者の連携状況（各福祉分野サービス等との連携状況）

- ・高齢者支援施設（介護事業所や高齢者包括支援センター含む）との連携…45件
- ・障がい者支援事業所との連携…122件



(2) 福祉サービスの提供

①高齢者生活福祉センター（居住棟）事業（金城支所）

*居住棟入居者 延52名

3. 総合的なサービス提供・連携体制を確立する

3-1 身近な地域でのつながりづくり

(1) サロン活動の充実支援

① サロン活動における各種講座・講演・講習会の開催

(浜田) ふくっぴーサロンを活用してリーダー養成講座を開催(13会場)

② サロン活動の機会を利用した情報提供の推進(随時)

③ 社協だより等による活動紹介(社協だより・社協ブログで随時紹介)

④ レクリエーション用具の貸し出し(随時)

⑤ サロンリーダー研修会の開催

* 浜田市サロンリーダー交流会

・ 内容① ささえあい活動事例紹介

② 「紹介します脳や体が喜ぶ体操」講師 浜田市役所 木下作業療法士

・ 参加者 78名(平成29年11月24日)

* ふれあいいいききサロンリーダー交流会(金城支所)

・ 内容「音楽で楽しく健康に」講師 療育音楽リーダー 徳田洋子氏

・ 参加者 26名(平成30年3月19日)

* サロンボランティアリーダー養成研修(三隅支所)

・ 内容「元気な身体を保つ運動法について」

講師 ひらかわ接骨院 平川和代氏

・ 参加者 76名(平成30年2月23日)



← 金城支所サロンリーダー交流会のようす



↑ 三隅支所サロンボランティアリーダー養成研修のようす

(2) 集いの場・居場所づくりの推進

* サロンの立上げ支援

・ 随時対応・助成金交付決定：新規7か所

(3) 見守り活動の推進

① 民生児童委員・福祉委員連絡会の開催(再掲)

* 浜田(1地区)・金城(合同)・旭(合同)・弥栄(合同)・三隅(5地区)

② 見守りネットワークの事業の推進

* 旭福祉圏(みまもりカードの取り組み)

* 弥栄福祉圏(独居高齢者安否確認事業・緊急時連絡カードの取り組み)

3 - 2 重層的な支え合いネットワークづくり

(1) 地域包括ケアシステム構築への取り組み（重層的な連携体制の構築）

生活支援体制整備事業（浜田市受託事業）

地域包括ケアシステムの構築に向けて、大切なのが、地域の支えあいの仕組みです。これを各地域の実情に合った形で一つ一つ形作っていくために、生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置して支援体制を整備しました。



① 民生児童委員さんと「まち歩き」による密着調査の実施（2層SC）

- * 浜田東部 1回 * 浜田中部 17回 * 浜田西部 29回
- * 金城 15回 * 旭 5回 * 弥栄 8回
- * 三隅 23回 * 合計 延98回

② サロンや集いの場所を訪問し、参加者聞き取り調査 及び民生委員の協力による高齢者アンケート調査の実施（2層SC）

- * サロン等つどいの場でのアンケート調査 回答者 延472名
- * 民生委員の協力によるアンケート調査 回答者 延670名

③ 「企業等が行う生活支援・地域支援の取り組み調査」実施（1層・2層SC）

- * 発送先企業 900件

④ 「つながる」活動「うまれる」活動「ひろがる」活動の推進（1層・2層SC）

- * まちあるき調査活動を行うことで、移動販売や出張販売の事業主との連携ができ、買い物が必要な地域のサロンやふくっぴーサロン等とつないだ。
- * 地域のリーダー養成を目的に協議体圏域でのサロンリーダー交流会を開催し、研修や交流を行い、介護予防や生活支援に向けた気運を高め、地域サロンの活性化へとつないだ。

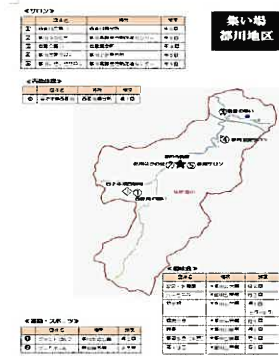
*支所圏域では、高齢者や支援関係者にもわかりやすい
「支え合い・集いの場資源マップ」を作成し、全戸に配布。



細谷ふくっぴーサロンにおける出張販売
買い物支援（セブンイレブン）



石見地区サロンリーダー交流会のようす
リーダー同士で楽しく学べました



支え合い・集いの場情報冊子の作成
全戸にお届けします

⑤地域ケア会議への生活支援コーディネーター参画（2層SC）

- *周布・大麻・美川 地域ケア会議（10・12・2月開催）*旭地域ケア会議（毎月開催）
- *弥栄地域ケア会議（毎月開催）*三隅地域ケア会議（3月開催）

⑥サロン活動・集いの場支援（1層・2層SC）

- *社協出前講座 89件（健康チェック・介護予防体操・レクリエーション等）
- *無料講師、有償講師の紹介・依頼などのコーディネート

⑦サロン空白地帯の解消に向けた取り組み（1層・2層SC）

- *サロン新規開設 12か所
（内、社協サロン立上げ支援助成金活用 7か所（再掲））



サロン空白地帯（松原町）の高齢者を「すくすく」クリスマス会に招待しました♪ 今後も定期的に子育て親子と交流活動を続けていくことになりました。
さらには、松原町・殿町で次年度はぜひ地域でサロンを立ち上げたいとの気運が高まっています。

⑧ふくっぴーサロンの運営（2層SC）

- *開催箇所 13会場(毎月1回)
- *開催回数 各会場毎月1回 延開催回数 155回
- *参加者数 延 2089名(月平均 174名)
- *主な内容 血圧測定、体操、ゲーム、脳トレ、お茶、おしゃべり（課題把握）
アンケート、情報提供、リーダー養成、福祉教育（小学生交流）

⑨はまだ市民福祉大会における活動発表（1層・2層SC）（再掲）



はまだ市民福祉大会において地域の集いの場・支えあい活動を紹介しました



たくさんの方々に、事業の内容やSCの活動を理解いただきました



相生3「しあわせ会」では、手づくり弁当を地域の高齢者にお届けされています



個人宅でお茶のみ場「たまり場」にも訪問して脳トレや体操など支援しています



金城の「今福おてまやさん」は社協と連携しながら高齢者の困りごとに対応されています



「おたがいさま浜田」は浜田市全域を対象に困ったときはおたがいさまの精神で助け合いの活動をされています



旭の「来尾サロン」では、移動販売車に来てもらい、みなでお買い物します



弥栄の「三角屋」は、ふれあいの店と称して、地域のみなさんのたまり場となっています



三隅の岡見地区では、JAの空き店舗を活用し「わくわくマーケット」を開店され、買物&見守りの場となっています

⑩1 層協議体の開催（1層SC）

- *第1回 9名出席（平成29年7月31日）
- *第2回 9名出席（平成29年10月27日）
- *第3回 11名出席（平成30年1月29日）

⑪2層 ささえあい協議体の開催（2層SC）

- *第1回 10地区（平成29年6～7月）
- *第2回 10地区（平成29年9月）
- *第3回 10地区（平成29年12月）
- *第4回 3地区（浜田・三隅・弥栄地区のみ臨時開催）（平成30年1月～3月）



3 - 3 地区の活動拠点とコーディネート機能の設置

（1）福祉圏の状況に応じた活動拠点の整備

- ①地区社協活動拠点の整備推進（浜田支所）
 - *浜田福祉圏地区社協拠点整備補助金要綱制定（平成30年4月施行）
- ②交流拠点設置事業
 - 弥栄支所：ふれあいハウスの貸出（利用なし）

3 - 4 保健・医療・福祉と他分野との連携

（1）障がい者のライフステージ移行支援

- ①障がい者相談支援事業所と権利擁護事業、生活困窮者相談支援事業の連携（随時）

（2）福祉教育・ふるさと教育・生涯学習・余暇活動における連携

- ①福祉教育の推進における学校・公民館との連携（随時）

(3) 健康づくりにおける連携

- ①食生活改善推進協議会等健康づくり団体との連携（随時）

(4) 就労における連携

- ①生活困窮者相談支援事業におけるハローワークとの連携（随時）

(5) 新たな連携への取り組みの推進

- ①地域内の多様なコミュニティとの事業連携や活動への誘い
 - ②地縁組織（地区社協等）と志縁組織（NPO 活動）との連携
- *新たなささえあいシステムを構築していく上での連携（随時）

4. すべての市民が安心して暮らせるまちをつくる

4 - 1 高齢者支援の推進

(1) 介護予防と生活支援体制の充実（再掲）

- ①高齢者サロンの開設促進（随時）
- ②高齢者サロンボランティアの養成と活動支援（随時）

(2) 家族介護者交流事業（浜田市受託事業）の推進

①浜田支所

- ・第1回 参加者：27名（平成29年7月19日）
- ・第2回 参加者：16名（平成30年2月23日）

②金城支所

- ・第1回 参加者：22名（平成29年7月28日）
- ・第2回 参加者：23名（平成30年3月2日）

③旭支所

- ・第1回 参加者：4名（平成29年9月26日）
- ・第2回 参加者：5名（平成30年3月14日）

④三隅支所

- ・第1回 参加者：28名（平成30年1月9日）
- ・第2回 参加者：8名（平成30年3月6日）

(3) 一人暮らし高齢者支援事業の開催（金城支所）

*内容 貸切一畑電車の旅他

*参加者49名（平成29年10月12日）

(4) 高齢者等歳末配食事業の推進

*金城支所 配食数94食（平成29年12月25日）

*旭支所 配食数126食（平成29年12月26日）

*弥栄支所 配食数117食（平成29年12月25日）

(5) 生きがいくくりと社会参加活動の推進

- ①高齢者クラブ連合会の運営支援（事務局運営支援）



在宅介護者の集い(旭)



在宅介護者の集い(三隅)

- ②ひとり暮らし高齢者組織の運営支援（弥栄・三隅）
- ③高齢者スポーツ大会等の開催（高齢者クラブとの連携）
- ④城山学級・城山大学等の生きがいつくり教室（浜田市総合福祉センター指定管理受託事業）
 - *城山大学 11 回開催 延べ 189 名
 - *城山学級 6 教室 延べ 71 回開催
 - *城山囲碁大会 3 回開催 延べ 140 名
- ⑤福祉バスの利用促進（随時）

(6) 敬老事業（金城・旭・三隅支所実施）

- ①金城・旭・三隅支所実施
- ②浜田支所（地区社協実施）



城山学級舞踊教室のようす

4 - 2 障がい者支援の推進

(1) 地域における生活支援体制の充実

- ①浜田圏域自立支援協議会との連携（再掲）（会議参画）

(2) 障がいのある人一人ひとりの自立と社会参加の促進

- ①障がい者の自立と社会参加の促進

*権利擁護事業による自立生活支援

- ・日常生活自立支援事業による障がい者支援
 - ・知的障がい：43 名
 - ・精神障がい：19 名
- ・法人後見による障がい者支援
 - ・知的障がい：5 名
 - ・精神障がい：3 名

(3) とともに生きるバリアフリー社会の実現

- ①障がい者差別解消法施行による地域づくり

*策定委員会参画

- ②障がい者支援ボランティアの養成及び支援

*障がい児居場所づくり事業の推進

- ・実行委員会 出席：7 名（平成 29 年 5 月 24 日）
- ・研修会 講演「子どもたちが安心して過ごせるように」
参加：49 名（平成 29 年 7 月 14 日）
- ・市内全児童クラブへの参考図書配布（20 か所）



障がい児居場所づくり事業
講演会のようす

- ③あいサポート運動の推進

*実施回数：24 回 受講者数：575 名（累積：178 回 4,912 名）

(4) 浜田市専任通訳者設置事業（受託事業）

*職員 2 名配置

- ・対応件数 手話通訳対応：延べ 126 名 262 回
- ・休日夜間等申請受付（専用携帯による）対応開始

(5) 手話通訳者等要約筆記奉仕員派遣事業（受託事業）

- *手話通訳派遣 73 回（93 名派遣）
- *要約筆記通訳派遣 30 回（57 名派遣）

4 - 3 児童健全育成・子育て支援の推進

(1) 子育て支援のネットワークづくり

①子育てサロンの開催

- * 浜田福祉圏：公民館単位で月1回開催
 - ・ 延べ54会場 参加親子 1,159名
- * 金城福祉圏：12回開催 参加親子 186名
- * 旭福祉圏：12回開催 参加親子 152名
- * 弥栄福祉圏：12回開催 参加親子 84名
- * 三隅福祉圏：12回開催 参加親子 143名



「みすみっこ集まれ」のようす

②子育て推進事業（三隅支所）

- * 事業名「みすみっこ集まれ」
- * 参加：147名（子ども90名 保護者57名）（平成29年8月5日）

(2) その他の支援

- ①青少年健全育成事業補助金の交付 交付決定：7団体
- ②チャイルドシート貸出事業（平成28年10月より浜田市全域で実施）
 - * 利用件数：浜田：3件 金城：1件
 - 弥栄：10件 三隅：3件 合計17件貸出

4 - 4 すべての分野を含めた支援の推進

(1) 生活困窮者自立支援事業（寄り添い型支援）の取り組み

- ①生活福祉資金・民生融金事業による生活支援の推進
 - * 生活福祉資金 相談610件 貸付 6件
 - * 民生融金事業 貸付 3件 償還16件
- ②社会的孤立者支援（必要時）
- ③矯正施設出所者の就労支援（必要時）
- ④フードバンク（フードドライブ）事業の推進
 - * フードドライブ 一人一品運動の募集
 - 第1回 6月実施 363品
 - 第2回 10月実施 179品
 - 第3回 3月実施 164品
 - * 食糧支援44件（1,017品支援）
- ⑤緊急現金貸付事業の実施



フードバンク食料ストックの状況

- ・ 貸付 17件
- ・ 償還 28件

(2) 入居債務保証事業の推進

- * 利用契約中4件 新規1件 継続3件

(3) 施設・社協・地域連携による地域共生型福祉のまちづくりの推進

- ①社会福祉法人の地域公益活動の推進（平成30年度連絡会立ち上げ予定）

4 - 5 防災・防犯活動の推進

(1) 地域の防災活動の推進

①民生児童委員、高齢者サロン、ふくっぴーサロン等において情報提供と啓発

②高齢者安心・安全生活推進事業（弥栄支所）

＊電動車操作技能講習会

参加者 11 名（平成 29 年 4 月 20 日）

＊悪質商法撃退グラウンドゴルフ大会

参加者 45 名（平成 29 年 5 月 16 日）

(2) 災害時要援護者に対する支援体制の構築

①民生児童委員・福祉委員研修会（各支所開催）

＊災害に備えた見守りネットワークの重要性について

(3) 災害時の関係機関・ボランティアとの連携

①災害ボランティア研修会の開催（市と共催）（再掲）

(4) どんちっち SOS ネットへの協力（随時）



弥栄支所
電動車操作技能講習会のようす

4 - 6 移動手段の確保

(1) 移送サービス・たすけあいによる移動支援

①移送サービス事業（浜田市受託事業）

＊旭福祉圏：利用回数 70 回

②身体障がい者外出支援事業

＊弥栄福祉圏：利用回数 1 回

(2) 福祉バスの運行による移動支援

①市民の福祉活動への参加促進と福祉バスの有効利用の促進（随時）

②福祉バス 1 号、2 号、3 号の安全運行（安全運転講習実施 運転手参加）

＊運行 348 回、利用者 6,776 名

（1 号車 145 回、2 号車 87 回、3 号車 116 回）

5. 社会福祉協議会の基盤強化

5 - 1 組織の充実

(1) 連絡調整・会議開催状況

①正副会長会の開催（5 回）

②理事会、評議員会の開催（理事会 7 回、評議員会 3 回開催）

③監査会の開催（監査会 2 回、内部監査 2 回）

④部会の開催（法人運営部会 2 回、地域福祉部会 1 回、介護福祉部会 3 回）

⑤委員会の開催（地域福祉活動助成金審査会 2 回、VC 運営委員会 2 回、VC 小委員会 1 回
苦情解決第三者委員会 1 回）



理事会のようす

- ⑥各福祉圏福祉のまちづくり推進会議の開催
 - *各福祉圏で開催（各2回）
- ⑦地区社協合同会議の開催（再掲）
 - *社協の事業説明、情報交換、活動紹介と活性化の促進
 - ・本所1回・支所各1回
- ⑧内部会議の開催
 - ・企画調整会議（毎月1回） ・地域福祉係長会議（5回） ・経営会議（1回）
- ⑨目標設定（事業評価と企画票）及び事務事業評価を取り入れた活動サイクルの実施
(随時)
- ⑩第3次浜田市地域福祉活動計画の策定（再掲）
 - ・策定委員会の開催（3回）

5 - 2 財政基盤の強化

(1) 財政基盤強化に向けた取り組み

- ①会員募集による自主財源の確保
 - *会員の増員の促進

・一般会員	1戸	800円	14,594,760円（18,243戸）
・賛助会員	1口	2,000円	1,724,000円（ 862口）
・特別会員	1口	5,000円	1,010,000円（ 202口）
・ふるさと会員	1口	2,000円	127,000円（ 63口）
- ②効率的な経営感覚修得の推進
 - *管理的職員（局長・次長・課長・支所長・係長）の経営意識の向上（課・係予算管理検討）
 - *県社協主催職員研修参加
- ③福祉基金を含めた財源の用途及び運営の検討（要綱制定（平成30年度施行：浜田））
- ④国・他団体等の助成事業の活用に向けた検討
 - ・職場環境改善等活動助成検討（労働者健康安全機構）
- ⑤社協運営改善に向けての経営分析等
- ⑥第3期財政計画の策定（平成30年3月策定）



5 - 3 職員体制の整備と資質向上

(1) 職員体制整備と資質向上に向けた取り組み

- ①職員採用計画の検討（平成30年度正職員採用を検討し、下期試験を実施 3名採用）
- ②職員の資格取得の促進（助成制度等、社内報・回覧周知）
 - ・介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師等（自主研修に対し受講料の助成）
- ③一般事業主行動計画実現に向けた職員体制・組織改革（社内報周知）
- ④浜田社協未来塾の事業・活動支援（再掲）
- ⑤職員研修体系に基づく計画的な研修の実施
 - *人権同和研修（7月4回）
 - *ハラスメント研修（9月2回実施、10月1回）

- *メンタルヘルスケア研修の実施（11月3回、12月1回）
- ⑥ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善
 - *ドライブレコーダー（5台）に基づく検証実施
 - *職員安全運転講習実施（8月）
- ⑦ストレスチェック実施に向けた検討
 - *心の健康づくり計画作成（産業保健推進センター助言）
 - *全職員を対象としたストレスチェック実施（90.1%）
- ⑧職員処遇改善の検討（専任職員制度創設、介護保険事業パート職員期末手当支給等）



職員メンタルヘルスケア研修のようす

6. 団体事務

6-1 島根県共同募金会浜田市共同募金委員会

(1) 共同募金運動の実施

- ①赤い羽根共同募金の推進
- ②歳末助け合い募金及び歳末事業の推進

(2) 助成金申請調整機能の充実

- ①社協事業への配分金 ……25 事業 6,916,663 円
 - *内地区社協事業への配分 ……28 地区 2,194,000 円
 - *内福祉教育（学校・幼稚園）への配分……29 団体 1,133,000 円
- ②他団体への配分金 ……26 事業 1,650,000 円



街頭募金のようす

6-2 日本赤十字社島根県支部浜田市地区

(1) 赤十字運動月間 統一キャンペーンの事業開催

- ①「災害に備えて、知って役立つ知識と技術」講習会開催
 - *期日：平成29年5月14日（日） 参加者：8名

(2) 会員増強運動、会員募集

- ②日本赤十字社会員（社員）の募集促進（随時）

(3) 赤十字奉仕団の支援と連携（必要時）



炊き出し訓練のようす

7. 介護保険等事業

7-1 事業報告

(1) 介護保険事業推進計画

- ①第2期介護保険事業推進計画の策定（平成30年3月策定）

(2) 介護保険・障がい福祉サービスの提供

- ①訪問介護事業の実施（浜田支所・金城支所（サテライト）・三隅支所）
- ②訪問入浴介護事業の実施（浜田支所・三隅支所）
- ③通所介護事業の実施（浜田支所・金城支所（地域密着型）・三隅支所）

- ④居宅介護支援事業の実施（浜田支所・金城支所・三隅支所）
- ⑤短期入所生活介護事業の実施（金城支所）
- ⑥障がい福祉サービス事業の実施（浜田支所・金城支所（サテライト）・三隅支所）

※事業概要報告及び介護保険事業状況報告参照

（3）介護保険制度外サービスの提供

- ①訪問自費サービス事業の実施（浜田支所・金城支所（サテライト）・三隅支所）

*浜田支所 月利用者平均2.1名、延派遣回数42回（月平均3.5回）

*金城支所 実績なし

*三隅支所 月利用者平均0.5名、延派遣回数7回（月平均0.6回）

- ②お持ち帰り弁当事業の実施（金城支所・三隅支所）

*金城支所 弁当 745食（月平均 62食）

*三隅支所 弁当 980食（月平均 82食）

おかず 1,726食（月平均144食）

（4）介護予防・日常生活支援総合事業

- ①介護予防訪問介護（従来型）事業の実施（浜田支所・金城支所（サテライト）・三隅支所）
- ②介護予防通所介護（従来型）事業の実施（浜田支所・金城支所・三隅支所）
- ③訪問型サービスA（緩和型）の実施（浜田支所・金城支所（サテライト）・三隅支所）
- ④通所型サービスA2（緩和型）の実施（金城支所）

※事業概要報告及び介護保険事業状況報告参照

（5）着実・堅実・誠実な対応と事業運営

- ①支所内係長会議の継続開催（毎月1回）

- ②同一事業係長会議の開催

*訪問介護事業 1回（平成30年3月）

*通所介護事業 1回（平成29年7月）

*居宅介護支援事業 1回（平成29年4月）

- ③事業所内ミーティングの充実（定例又は随時事業所ごとに開催）

- ④外部研修の積極的受講

*研修計画に基づき、県社協等主催研修へ参加（随時）

- ⑤職場内研修の充実（各事業所又は合同で実施）

*介護保険事業全体（法令遵守研修、傾聴研修）

*居宅介護支援3事業所合同研修（日常生活自立支援事業についてなど）

*訪問介護事業（透析食調理実習、同行援護サービス実技など）

- ⑥経営会議の開催（1回：再掲）

（6）地域福祉部門との連携

- ①域福祉等企画事業への参加（随時）

- ②通所介護事業所と地域小学校児童等との交流（再掲）